

# ◇ 同意見書 ◇ 鬼北町固定資産評価員の選任について

補助金の見直しについて

町長 国は、予定価格を入札前に公表すると予定価格が目安となつて競争が制限され、落札価格が高止まりになること、建設業者の見積努力を損なわせること、談合が一層容易に行われることなどにかんがみ、入札前には公表しないこととしており、当町は、国に準じた入札制度を採つている。入札・契約の執行は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、①透明性の確保②公正な競争の促進③適正な施工の確保④不正行為の排除の徹底を基本原則に対応しており、今後も諸情勢に適正に対応するべく、十分な検討を加え、入札・契約の適正化の推進と公共工事の品質確保の促進に努めたい。

入札制度の適正化・公正化および競争性をより一層推進するため、予定価格および調査基準価格の事前公示を制度化すべきではないか。

一般質問

◇山村振興等農林漁業特別対策事業費等（キジ関連経費）の監査請求に関する決議

山本勣議昌

6 施設の平成17年度末現在の資本金額および町の出資額と出資比率について。

康増進の施設として幼児から高齢者まで年間を通して利用できる多機能型施設にリニューアルするため、実効性のある整備計画を樹立したいと考えている。現在は、先進地の取り組み状況の把握、温水化施設での利用頻度、運営面でのコストの問題、利用者の年齢層など、多岐にわたつて調査・研究をしている。

かして、年間を通して利用できる施設と  
温水化などの計画はないの

情報開示請求において、領収書

町長 第3セクターの情報公開は  
度経営状況などの報告している。  
地方自治法に基づき、議会に毎年  
町民への情報提供は、旧日吉村で  
ては広報誌に掲載して状況報告をし  
ていたが、鬼北町では現在まで実  
施していない。町としては、鬼北  
町情報公開条例第26条「出資法人  
の情報提供」の趣旨を尊重し、透  
明性の確保のためにも、第3セク  
ターの情報公開が早期に確立する  
よう、必要な措置を講じたい。

いって。平成18年度総会の開催時期に町長が6月21日、「日吉農林公社」が5月25日、「日吉原木市場」が5月25日、森が6月30日、「鬼北町農業公社」が5月26日、「森の三角ぼうし」が5月26日、「グリーンファーム安森」が5月25日、「日吉夢産地」が5月25日にそれぞれ開催されている。

事業計画や経営内容などについての情報公開条例の運用と、情報開示対応の見解について。

出資比率66.7%、「株式会社グリーンファーム安森」が資本金1千3百万円、出資額675万円、出資比率51.9%、「株式会社日吉農林公社」が資本金1億2千615万円、出資額1億2千万円、出資比率95.1%、「株式会社日吉原木市場」が資本金6千万円、出資額2千240万円、出資比率37.3%、「株式会社日吉夢産地」が資本金3千万円、出資額2千万円、出資比率66.7%となつてい